

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホームこすもすの郷 1号館

作成日: 令和 6 年 7 月 20 日



目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	コロナ禍の感染対策による活動制限により、地域交流や地域貢献の機会が不足している。	感染対策に留意しながら、3ヶ月に一度、地域行事への参加や地域のイベントへの参画を計画し、入居者が地域との繋がりを持つ機会を拡充させる。	地域交流の担当者を決め、企画～準備～実施まで計画的に進める。グループホーム会議や運営推進会議では必ず進捗状況を報告する。 継続して参加する予定としては、高津町自治会の地蔵盆や文化祭が挙げられるが、よりよい交流の方法を検討する。また、運営推進会議での助言や綾部市社協からの情報提供を基に、地域貢献に係るイベントや行事への参加計画を立て、実行する。	12ヶ月
2	23・26	ケアプランの短期目標が抽象的なため、支援目標が曖昧となり、ケアの統一に繋がりにくい。	ケアプランの目標設定が具体的になるための仕組みを構築する。	グループホーム会議では、ケアプランが現状に即した内容になっているか、また、実現可能な目標となっているか等、職員間で意見交換を行う。 計画作成に関わる職員で目標設定の妥当性を相互に検証するため、ケアプラン作成日から1週間を期限に、計画作成担当、ケアマネジャー、管理者でケアプランを回覧する。	12ヶ月
3					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。